

政策評価調書(5年度実績)

政策名	挑戦と努力が報われる農林水産業の実現	政策コード	Ⅱ-1	関係部局名	農林水産部
-----	--------------------	-------	-----	-------	-------

【Ⅰ. 政策の概要】

魅力ある、もうかる農林水産業の確立に向け、経営力のある担い手の確保・育成から生産基盤の整備、マーケットインの商品づくり、国内外の流通対策までを全体として見通した上で、①水田の畑地化による高収益な園芸品目等への生産転換、②全国トップレベルの肉用牛産地づくり、③循環型林業の確立による林業・木材産業の成長産業化、④水産業の資源管理の強化と成長産業化、⑤スマート農林水産業の実現を重点に構造改革をさらに加速させる。

【Ⅲ. 政策を構成する施策の評価結果】

	施策名	指標評価	総合評価
1	構造改革の更なる加速	達成不十分	B
2	マーケットインの商品(もの)づくりの加速	概ね達成	A
3	産地を牽引する担い手の確保・育成	概ね達成	B
4	元気で豊かな農山漁村づくり	達成	A

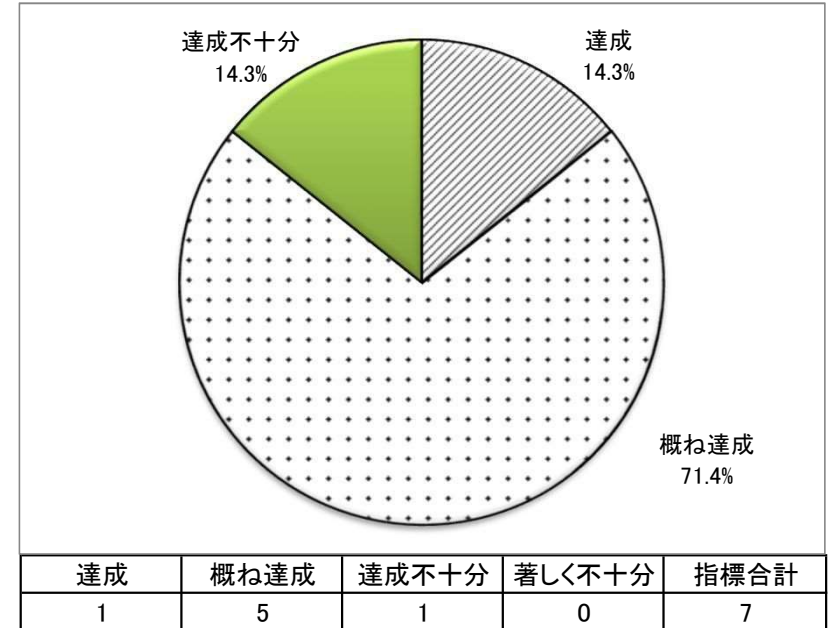
【Ⅴ. 政策を取り巻く社会経済情勢・今後の動向】

県では、これまで、マーケットインの商品づくりに取り組み、県オリジナルいちご「ベリーツ」や「おおいた和牛」、「うまみだけ」、「かぼすブリ」などのブランド産品を育成・推進してきた。また、就業相談会の開催や、就農後のサポート体制整備などの就業支援制度を充実させた結果、R5年度の新規就業者数は、7年連続で400人を超えた。

また、R4年の農業産出額は、短期集中県域支援4品目の面積拡大が進む園芸や、若手生産者等による増頭が進む畜産において産出額が増加するなど、大分県農業総合戦略会議の行動宣言が目指す園芸・畜産へのシフト等の改革が着実に進み、農業産出額も3年連続の増加(対前年+17億円、+1.4%)となった。林業産出額は、素材生産量が過去最高を記録するも、R3に発生したウッドショックからの価格の落ち着きから減少(対前年▲13億円、▲5.3%)となった。水産業産出額は、R3年の養殖用ブリ稚魚の不漁に伴うブリ類単価の上昇もあり、2年連続の増加(対前年+29億円、+8%)となった。農林水産業創出額全体では2,303億円(対前年+43億円、+1.9%)となっており、引き続き、農林水産業の成長産業化に向けた施策を迅速に進めていく。

農業では、農業総合戦略会議でとりまとめた「行動宣言」を、着実に実行に移しているところであり、白ねぎやピーマンなど短期集中県域支援品目の産地拡大の成果が出てきている。引き続き、生産者、農業団体、市町村による一体となった取組をしっかりと後押しするため、短期集中県域支援品目の生産拡大や、担い手育成、流通・販売強化、農協改革など総合的な対策を講じていく。林業では、大径化した高齢林の伐採・活用の促進や早生樹造林の推進など循環型林業の確立に向けた取組を進める。水産業では、全国豊かな海づくり大会を契機とし、拠点放流等による新たな増殖モデルの構築や養殖ブリの周年出荷に向けた人工種苗供給体制の構築、ブリ類の高次加工に対応した加工場整備等の対策を講じていく。

【Ⅱ. 構成施策の目標指標の達成状況】



【Ⅳ. 評価が著しく不十分となった指標】

指標名	達成率
該当なし	—